

プレスリリース

平成 30 年 7 月 25 日
(一社) 日本船舶電装協会

札幌市でブロック会議・技術者研修会を実施

--- 新しい「会員の章」の頒布や低圧電気講習などについて説明 ---

当協会は、全国で「ブロック会議・技術者研修会」を実施していますが、このたび札幌市で北海道地区船舶電装協議会のご協力を得てブロック会議・技術者研修会を行いました。

この事業は、日本財団の助成事業として行っているもので、船舶電気装備工事に携わる会員企業にとって船舶安全法の関係法令を十分に理解することが船舶の適正な電装設計、電装工事を行う上で極めて重要であることから、国土交通省の地方運輸局・支局及び日本小型船舶検査機構の各支部にご協力を頂いて行っているものです。船舶検査法令等の勉強や当協会の各種事業活動の説明を主な目的とした「ブロック会議」と「技術者研修会」の2本立てで実施しています。

ブロック会議に先立ち、北海道運輸局の 樋口 清 海上安全環境部長が出席して北海道地区船舶電装協議会（会長：高井 秀昭 (株)進成電機機械工業所 社長）の総会が開かれました。

ブロック会議では、北海道運輸局の 阿曾 薫 首席海事技術専門官が「船舶安全法関係法規の改正等」について、日本小型船舶検査機構の菅原支部長が「小型船舶の検査について」説明した後、出席者と質疑を行いました。当協会からは、

- ・新しいアクリル製の「会員の章」「認定事業者等の章」の頒布
- ・本年度からの新規事業として、労働安全衛生法で求められる低圧電気講習の実施
- ・本年度に実施する LED 式照明器具の船舶への利用拡大に関する調査研究等について説明しました。

また、技術者研修会では、日本財団助成事業とし平成 28・29 年度に実施した「アルミ電線の船舶への適用」の調査研究の成果を報告するとともに、同調査研究に協力した古河電工産業電線(株)より提案のあった「電気溶接や造船工事におけるアルミ電線の試用について」紹介しました。

<開催場所> 平成 30 年 7 月 20 日(金) ロイトン札幌 2F クリスタル



<会員の章>



<船舶電気装工事事業者の章>



<航海用レーダー等装備工事及び整備事業者の章>



<GMDSS 設備サービス・ステーションの章>